

会費納入についてのお願い

郵便振替口座用紙を同封します。会費の金額に誤りがありましたら至急村田 淳に連絡をお願いします。

2017 年度 鉱山研究会 年間行事・予定

■行事回数 ①年次大会・例会 2 回（可能ならば 4 回） ②見学会・巡検 2 回
③映像の会 2 回 ④海外文献の会（休会中）

■刊行回数 ①「鉱山研究」1 回（2016・2017 年度合併号の予定）
②「ニューズレター」随時（行事確定次第、実施日の約一か月前までに発行）

2017 年

4 月 22 日（土）年次大会・総会 会場：渋谷区立勤労福祉会館

報告：①金丸 哲也「非鉄資源会社から刊行された会社史」

②村田 淳「宇部炭田・長登銅山巡検報告」

総会 2016 年度運営報告・2017 年度運営計画、2015、2016 年度会計報告・
2017 年度会計予算 以上承認。 役員留任。

5 月 27 日（土）NL 臨時号発行（映像の会案内ほか）

6 月 24 日（土）第 47 回映像の会 渋谷区立勤労福祉会館

「国産エネルギーの担い手ー太平洋炭礦ー」太平洋炭礦制作，1977 年 「生き残りをかけた選択ー北海道 太平洋炭礦・苦悩の一年」NHK 釧路制作，2000 年
藤本幸久監督「闇を掘る」2001 年

8 月 21 日（月）NL106 発行（例会案内ほか、付・名簿、会計報告）会費請求

9 月 30 日（土）例会 13 時 30 分～16 時 30 分 渋谷区立勤労福祉会館

① 嶋崎尚子（早稲田大学大学院教授）

「炭鉱閉山と労働者・家族のライフコース」

② 長島節五「スウェーデン鉱山見学記」(交渉中)

あるいはDVD 上映「スペイン、エナレス周辺の鉱山」

10月28日(土)～29日(日) 鉱山合宿

諏訪鉄山、金鶏金山ほか(長野県)

NL発行(各種案内 ほか)

12月中旬(土) 第49回映像の会 渋谷区立勤労福祉会館

末日 会報原稿締切(「鉱山研究」93・94合併号、18年3月末発行の予定)

2018年

1月20日(土) 例会 13時30分～16時30分(会場未定)

① 高岡秀俊「鉱床探査から開坑まで——アラスカ、Pogo 坑
内掘り金鉱山」(仮題)

② 村田淳「MHAアラスカ大会参加報告」(仮題)

NL発行(総会案内、会費請求 ほか)

3月上旬(土、日) 伊豆巡検

中旬 伊豆巡検

末 会報「鉱山研究」93・94合併号発行

4月中旬(土) 年次大会・総会(ご意見、報告者募集)

次回 MHA(アメリカ鉱山史協会)の年次大会

サウスダコタ州、デッドウッドで2018年6月7日～10日の予定です。1876年のゴールドラッシュの時期に成立した鉱山街で、西部劇でおなじみのカラミティ・ジェーンが闊歩し、ワイルド・ビル・ヒコックが殺害されたことでよく知られています。

のちにスーインデアンに全滅させられたカスター将軍が金を発見して、彼らを一掃しようと思い立ったところでもあり、周辺にたくさんの金鉱山街がありました。

次回 IMHC(国際鉱山史会議) 開催地決定

カナダ在住の Jeremy Mouat の尽力により、カナダ、オンタリオ州、Sudbury にあるニッケル・銅鉱山に決定しました。日程は来年中になる見込み。

この鉱山は正マグマ系鉱床で熔離鉱床の典型的なサドベリー型鉱床といわれている。カナディアンパシフィック鉄道建設時に発見された。バンクーバーとトロントを結ぶVIAの車窓からみられる。この鉄道はカナディアンロッキーを横切り素晴らしい眺めが見られます。乗ってみたいいかがですか。

例会案内

嶋崎尚子さんはこれまで、日本の石炭産業の収束過程を、炭鉱閉山と離職者・家族の産業転換・移動に焦点をあて、観察してきた。

具体的には、半世紀にわたる石炭政策の変転というコンテキスト上に各炭鉱の閉山を位置づけ、ヤマごとの離職者の動向を考察してきた。彼らの動向は、マクロ水準での石炭政策（離職者対策）、他産業での労働力需要、メゾ水準での炭鉱会社の特性、地域特性、そしてミクロ水準での離職者の生活段階、個人属性等から、多元的に説明できる。

本報告では、尺別（1970年閉山）、常磐（1971年）、三井芦別（1992年）、三井三池（1997年）、太平洋（2002年）をとりあげ、研究概要を紹介する。

長島節五さんは間に合ったらということで交渉中。あるいは、昨年の国際鉱山史会議の開催地のスペインのリナレス周辺地域の鉱山のDVDを上演します。

■報告：①嶋崎尚子（早稲田大学文学学術院教授）

「炭鉱閉山と労働者・家族のライフコース」

②長島節五「スウェーデン鉱山見学記」（交渉中）

あるいはDVD上映「スペイン、エナレス周辺の鉱山」

■日時：2017年9月30日（土）13時～17時

■会場：渋谷区立勤労福祉会館 第三洋室（渋谷区神南1-19-8）

■問合せ先：村田 淳 電話：045-401-5259

諏訪鉄山・金鶏金山（長野県）合宿案内

諏訪鉄山は武田信玄が鉄鉱石を採掘し用いたと伝えられています。

この鉱山は、針鉄鉱、褐鉄鉱を産出し、鉱床は表土の直下に八ヶ岳の噴火により流出した溶岩を覆うように分布し、蓼科中央高原一帯を中心に分布している。

この鉱床は沈殿鉱床あるいは沼鉱床に分類され、露天掘りで採掘された。1937（昭和12）年から1963（昭和38）年頃まで稼動した。また現在も沈殿、堆積しているところがある。

金鶏金山は茅野市金沢に位置し、発見は武田信玄といわれている。当初は路頭部の砂金を採取し、吊るし堀跡の播鉢状の窪みが多数みられる。旧坑も数カ所あり、坑道採掘が行なわれていたことがわかる。鉱床は深熱水性網脈で、一部には鉱染状鉱体もあり、金、銀などを産出した。

はずかしながら、先輩たちの教で、河川の下流側で鉱石（石英など）見つけて上流にたどって、路頭や鉱石をみつけだすと、理解していましたが、それは近代以後のやりかたと教えられました。古代や中世では、山師は山々を歩き回って、転石や路頭をさがす、水流をさかのぼって鉱脈を探すことはまずないと、考えていたという。金鶏鉱山はこのことを教えてくれます。

なお時間があれば、その他の鉱山も見学します。

注意：ヘルメットは必ず持参してください。見学時は常時被ることを義務づけます。

■日程：2017年10月28日（土）～29日（日）（1泊2日）

■集合時刻と場所：10月28日（土）11時00分 JR茅野駅東口駅前広場

■解散時刻と場所：10月29日（日）15時00分 JR茅野駅東口駅前広場

■行程：

◎10月28日（土）午後 各自弁当持参

茅野市八ヶ岳総合博物館

諏訪鉄山（金堀場、石遊場、明治鉱区、ほか）

◎10月29日（日）7時00分朝食 8時00分出発 弁当持参（コンビニ）

金鶏鉱山（露天堀跡（吊るし堀）、武田坑、鶴坑、亀坑、猫流し跡、貯水池跡、そのほか）

鉛山鉱山、大沢鉱山横山鉱業所、同加世鉱業所、蠟石山、猿ヶ入鉱山、向谷金山、ほか

■服装・装備：服装は丈夫で汚れてもいい長そで上着とズボン、足元のしっかりした靴あるいは長靴。ハンマー（あればよい）。ヘルメットは常備。また、杖があればなお安全です。

■宿泊：茅野駅周辺のビジネスホテル（交渉中）

■参加費：1万5千円程度（参加人数によってかなりの変動があります。なお、集合場所までの交通費と昼食代は含まれません。）

■申込締切り：2017年9月30日（水）厳守。レンタカーを利用する場合、その手配がありますので、申し込みが、締め切り日より遅くなった場合は、参加できないことがあります。

■申込み、問合せ：村田淳 メール：sunao-murata@y8.dion.ne.jp

電話・FAX：(045)401-5259 住所：221-0011 横浜市神奈川区神之木台 41-22

*2017年8月19日 村田淳記

例会予告

アラスカの Pogo 金山は、その金鉱床がほぼ水平に広がる深熱水性金鉱脈で、高岡さんが 1991 年-1997 年カナダ駐在中に発見し、開発初期まで手がけた金山です。

ヒ素鉱物に富む金鉱床なので、環境汚染を避けるため、選鉱は①重力選鉱→②浮遊選鉱→③青化精錬の三段階で行われます。①でまず、粗粒自然金を回収します。②で微粒の金、硫砒鉄鉱、金属鉱物からなるコンク（精鉱）を回収します。③でコンクを青化精錬して残りの金を回収します。

炭素を使うのは③の最終段階です。青化液に溶け出た金を炭素で吸着して回収するのです。その回収物を溶かして青金インゴットを作ります。

①、②、③で出たスライムはセメントと混ぜ、採掘跡の坑内充填に使われます。スライムの一部はセメントで固化し坑外に積み上げて保管します。

上記のように選鉱廃物が全く流れ出さないようにして、鉱山周囲の鮭遡上河川の環境汚染を防いでいます。

■日時：2018 年 1 月 20 日（土）13 時 30 分～16 時 30 分（会場未定）

■報告：①高岡秀俊「鉱床探査から開坑まで

——アラスカ、Pogo 金鉱山（坑内掘り）」（仮題）

③ 村田淳「MHA アラスカ大会参加報告」（仮題）

2017 年度大会・総会報告

■日時：4 月 16 日（土）13 時 30 分～16 時 45 分

■会場：渋谷区立勤労福祉会館

■参加者：6 人

■報告、ほか

① 金丸 哲也「古書籍ボタ拾い、日本全国北から南から」

② 村田 淳「ダーウィン近郊の金鉱山・オーストラリア鉱山史協会
年次大会報告

③会員の近況報告・課題と疑問点など

■総会 2016 年度運営報告・2017 年度運営計画 2015・2016 年度会計報告・2017 年度会計予算を承認。役員選出：留任。（九州・関西・中部地区の情報担当を募集中）・以上を可決承認

決議内容など

- ・年度計画は1頁に多少の変更を加えて掲載しました。
- ・会員の高齢化と情報の容易な入手が可能な状況が進んでいることに伴い、新しい会員の入会がないために、会員数が減っています。魅力のある企画やテーマを扱うことによって、新たな会員が参加してくれることに努めたいと思います。
- ①会員数の増加に努める。学生、大学院生は会費を半額にする。
- ②各行事ともに参加者が少なく、内容に工夫が必要。
- ③例会や大会の報告者が少ないので、報告できるひとを積極的に探す。開催方法や報告者が申し出をしやすいようにする。
- ④巡検や見学会は、希望を募り、魅力ある鉱山を対象にする。
- ⑤各行事への非会員の参加を容易にして、その後に入会を促す。
- ⑥「鉱山研究」には、大会、例会や見学会の報告を必ず掲載する。
また非会員の原稿もできるだけ掲載し、その後入会を促す。100号は記念号にする企画をたてる。
- ⑦HPは担当の丸山さんの努力によって毎月更新しており、さらに活用を図る。
- ⑧会計報告は、2015年度の仮の決算書を本決算書にして承認しました。会報の発行は原稿の不足と予算不足のために2016年度と2017年度の合併号にします。発行は2018年3月末を予定しています。

役員（留任）

会長：村田 淳 会計：齋藤和美 映像の会・HP担当：丸山もところ
情報担当：石川孝織・平塚尚護 会計監査：工藤教和

当会ホームページをぜひご活用ください

丸山もところ

当会はネット上にホームページを開設しています（アドレスは下記参照）。

そこでは、ニューズレター・会誌、例会・大会、見学会・巡検、映像の会、読書会などの最新情報を掲載しています。

さらに「情報交換BBS」では、当会以外の鉱山関連のイベント（企画展、シンポジウム、講演会、新刊本、ツアーなど）の情報を紹介しています（アドレスは下記参照）。逆に、個々の会員が「情報交換BBS」を使って情報発信したり、記事にコメントをつけたりすることも可能です。情報（但し鉱山関連に限る）を発信したい方、記事にコメントをつけたい方は、下記連絡先までご連絡ください。

記事の投稿方法についてお教えします。あるいは投稿したい内容をメールで下記連絡先までお送りいただければ、管理人が代わりに投稿することも可能です。

ぜひ当会ホームページをご活用ください。

【鉾山研究会ホームページ】 <http://www.jmrs.sakura.ne.jp/>

【情報交換BBS】 <http://www.jmrs.sakura.ne.jp/member/>

【連絡先】 jmrs.hp@gmail.com

入 会 案 内

「鉾山研究会」は、1973 年 11 月に創立した、国内外の鉾山および炭礦と鉾山に関係する事柄の歴史や現状についての研究を目的とする団体です。

会報『鉾山研究』や『ニューズレター』の発行、研究大会、例会、鉾山の映像の会、読書会や鉾山地域の合宿や巡検などを行っています。

入会資格は特にありません。分野を問わず鉾山に興味がある人でしたらだれでも歓迎します。入会希望者は、以下の宛先に入会を希望することを連絡してから、入会金なしで年会費（2016 年度 6000 円）を送金してください。

郵便振替 00140-0-540969 金属鉾山研究会

連絡先 : 村田 淳 phone/fax: (045) 401-5259

221-0011 横浜市神奈川区神之木台 41-22

e-mail : sunao-murata@y8.dion.ne.jp

例会報告者の募集

例会で報告していただける方を募集しています。

例会の報告の持ち時間は、研究大会が報告 20 分質疑応答 10 分に比べ、報告約 1 時間、質疑応答 30 分と十分に時間があり、じっくりとまとまった報告が可能です。

テーマは鉾山に関係があるものであればかまいません。金属鉾山、石炭鉾山、経済史、民俗、労働史、労働運動、あるいは鉾物、鉾床など様々な分野からの報告が会員の研究に役立つでしょう。

報告は非会員でもかまいません。報告してほしいテーマや人物があれば、お知らせください。

*問い合わせ、申し込みあるいは情報などを、村田淳あるいは役員に。

『鉾山研究』原稿募集

2016 年度分の会誌を発行できませんでした。予算不足と原稿の不足のためです。

あらためて『鉾山研究』に掲載する原稿を募集します。内容は鉾山に関係するものであれば、分野を問いません。お手元にある資料や研究ノートの様式でもかまいません。

原稿はできればメールで完成原稿（著者校正無し）を村田にお送りください。完成原稿でない場合は村田に連絡をください。その場合、原則として入力料金がかかります。

なお採否は、編集担当が審査させていただきます。

また原稿 1 本につき原則として見出し、図版を含めて 10 ページ以内（1 頁 1638 字×10 頁）で、字数は全て文字数に換算すると 1,6380 字以内です。ただし、長いものは必要があれば数回にわけて掲載することも可能です。

■締切：2017 年 12 月末日、

■発行予定：93 号 94 号と合併号として、2018 年 3 月末の予定です。

■問い合わせ・送り先：村田 淳 〒221-0011 横浜市神奈川区神之木台 41-22

Phone ・ Fax：045-401-5259 メール：sunao-murata@y8.dion.ne.jp